

伊藤副知事による石川県訪問概要

5月13日（月）「令和6年能登半島地震」の最大の被災地である石川県を訪問し、石川県庁において徳田副知事から情報収集を行うとともに、中・長期派遣職員として石川県庁に勤務している本県職員への督励を行った。

5月14日（火）には能登町役場を訪問し、大森能登町長から情報収集を行うとともに、能登町及び石川県地方機関に中・長期派遣職員として勤務している本県職員への督励を行ったほか、輪島市を中心とした被災地域の現地視察を行った。

【石川県庁】

1 石川県からの情報収集

(1) 被災状況や応急復旧状況等の説明

[組織・人員体制]

復旧・復興の加速化を図るため、4月から新たに「能登半島地震復旧・復興推進部」を創設。5月中に復興プランも策定し、復旧と並行し復興のフェーズにも移行していく予定。

全国からの応援を得ながらも、依然としてマンパワー不足が深刻。職員の時間外勤務が増加しており、任期付き職員を大量に募集中。

[道路]

国や各都道府県などの支援により、復旧は着実に進んでいるが、依然として課題は山積。幹線道路は権限代行で施工してもらうこととなった。

[水道]

復旧は着実に進んでいるが、依然として課題は山積。現時点でも輪島市と珠洲市の一部が未復旧。まずは全面復旧が急務。宅内配管工事に係る被災者の負担軽減を図るため、工事業者に対する旅費の補助制度を創設。

[漁港]

輪島市の漁港などは海底の隆起が深刻で、復興のフェーズへの移行は先の見込み。

[農地]

被害は大規模で、6～7割に被害が発生。

[応急仮設住宅]

必要数の把握は完了し、8月までに建設を進める予定。

[家屋解体]

家財の残置、相続人の同意、ボランティア等支援者の宿泊場所の確保などの課題が影響し、家屋の解体はほぼ進んでいない。

[旅館施設]

七尾市の和倉温泉に20数件の旅館があるが、現時点で1つの旅館を除き、復旧の見通しが立っていない状況。

(2) 伊藤副知事からの申し出

本県派遣職員を有効に使っていただくとともに、各種課題の解決に向けてはノウハウを提供できるので、遠慮なく相談してほしい。

2 石川県派遣職員の督励

石川県庁に中・長期派遣職員として勤務している本県職員2人に対して督励を行った。

【能登町役場】

1 能登町からの情報収集

(1) 被災状況や応急復旧状況等の説明

道路は応急復旧を施したが、各種インフラの復旧はこれからの状況。上水道は5月2日ようやく復旧したが、宅内配管工事が停滞中。応急仮設住宅については必要数を6月末までに完成予定。がれき等の撤去については手が付けられていない状況で県と協議中。

(2) 伊藤副知事からの申し出

東日本大震災の時には、全国から長期間にわたり支援をしていただいた。宮城県として、今後も継続して支援を行っていく。

2 能登町派遣職員の督励

能登町役場に中・長期派遣職員として勤務している本県職員3人に対して督励を行った。

【石川県地方機関】

- 奥能登土木総合事務所分室（石川県輪島市三井町）
 - 奥能登農林総合事務所（石川県輪島市三井町）
 - 奥能登土木総合事務所（石川県輪島市河井町）
- } 「のと里山空港」内

1 奥能登土木総合事務所からの情報収集

職員の派遣に感謝している。空港の隣接地に宿舎が確保できた。生活面では不便をかけるが活躍を期待している。

2 石川県地方機関派遣職員の督励

石川県地方機関に中・長期派遣職員として勤務している県職員4人に対して督励を行った。

【輪島市ほか】

輪島朝市周辺を中心に被災地域の現地視察を行うとともに、移動の車中から各地の被害状況確認を行った。